

2020年6月2日

## 企業会計基準委員会と米国財務会計基準審議会の代表者による定期会合の開催

企業会計基準委員会  
米国財務会計基準審議会

企業会計基準委員会（ASBJ）と米国財務会計基準審議会（FASB）の代表者は、2020年6月1日に、ビデオ会議形式で会合を実施しました。小賀坂 敦ASBJ委員長、ラッセル・ゴールデンFASB議長に加え、2020年7月より議長に就任する予定のリチャード・ジョーンズ次期FASB議長も参加しました。この会合は、高品質でグローバルな会計基準の開発へ向けて連携を深めるために、ASBJとFASBが年に2回、定期的に行っているもので、今回で27回目となりました。今回は、新型コロナウイルス感染症の影響により、ビデオ会議の形式で実施されました。

会合では、ASBJ及びFASBの代表者は、新型コロナウイルス感染症がお互いの会計基準に与える影響を紹介するとともに、両基準設定主体が共通の関心を有している項目である「のれんの会計処理」及び「財務業績の報告及び開示」等について議論を行いました。

ASBJとFASBは、引き続き意見交換を続けていく予定であり、次回の会合は2020年の後半に開催する予定です。

小賀坂敦ASBJ委員長は次のように述べています。

「今回の会合はビデオ会議形式で実施され、従来の会合よりも短い時間での議論ではあったが、新型コロナウイルス感染症がお互いの会計基準に与える影響や、のれんの会計処理など国際的に注目されているプロジェクトについて建設的な議論が行われた。新型コロナウイルス感染症による困難な状況下においても、優れた専門的技術を有するFASBと議論する機会を持てたことは非常に有意義であった。今回の議論は、グローバルな会計基準の品質の改善に資すると考えている。

また、7年前にゴールデン氏がFASBの議長に就任されて以来、彼とともにこの定期協議を開催し続けることができたことは、大変栄誉なことであると申し上げたい。残念ながら、ゴールデン氏がASBJとの定期協議でFASBを主導するのは今回が最後となる。しかし、我々ASBJは、FASBを牽引し、グローバルで高品質な会計基準の設定に貢献してきたゴールデン議長の業績に深く感謝し、今後の活躍を祈念する。

最後に、我々は、今回の会合でジョーンズ氏と会合する機会を持てたことに感謝している。我々はジョーンズ氏を迎えられることをうれしく思っており、この有益な会合がこの先も長年にわたり継続することを楽しみにしている。」

ラッセル・ゴールデンFASB議長は次のように述べています。

「現在のような不確実性のある時代においては、会計基準設定主体が、それぞれの利害関係者を支援するために一緒になって取り組むことがこれまで以上に重要である。ASBJとの会合は、新型コロナウイルス感染症の危機において生じる基準設定の課題への対応方法に関して、非常に生産的な意見の交換となった。また、我々の対話は、のれんの会計処理や財務報告及び開示などの進行中のプロジェクトに価値のある知見をもたらした。

さらに今回の会合は、6月30日に任期を終える私にとってはFASB議長として最後の会合であり、ほろ苦いものとなった。私のFASB在籍期間中（最初は、FASBスタッフとして、その後はFASBの理事として、それから議長として）ASBJと協働できたことは、大変光栄であり名誉あることであった。小賀坂委員長、小野前委員長をはじめ、私がFASBに在籍していた間、ASBJに勤務していたすべての方と協働する機会を持てたことに大変感謝している。また、長年にわたって築き上げた一生ものの友情関係にも感謝しており、私のキャリアの次の章で、両審議会の活動を見守り続けることを楽しみにしている。」

リチャード・ジョーンズ次期FASB議長は次のように述べています。

「今回の会合で、小賀坂委員長、ASBJの委員及びスタッフとお会いできたことを大変光栄に思っている。ASBJとFASBの継続的な協力関係は、それぞれの審議会の利害関係者及び世界中の資本市場にとって、基準を改善する上で非常に重要であると考えており、この先も長年にわたり定期会合を継続できることを楽しみにしている。」

## 企業会計基準委員会（ASBJ）について

ASBJは、2001年7月に民間部門の機関として設立された。ASBJが開発した会計基準は、金融庁により一般に公正妥当と認められた企業会計の基準として認められることとなる。ASBJは、企業が活動している環境を適切に反映した会計基準及び適用指針を開発している。ASBJは、海外の会計基準設定主体とコミュニケーションを取り、グローバルな会計基準の開発に貢献している。ASBJに関する詳細な情報は、ホームページ (<https://www.asb.or.jp/jp/>) をご参照いただきたい。

## 米国財務会計基準審議会（FASB）について

FASBは、1973年に設立された、一般に認められた会計原則（GAAP）に従う公開企業、非公開企業及び非営利組織のために財務会計及び財務報告の基準を設定する独立の民間の機関であり、コネチカット州ノーウォークに拠点を置いている。FASBは、米国証券取引委員会（SEC）により、公開企業のための指定された会計基準設定主体として認識されている。FASBの基準は、各州の公認会計士審査会及び米国公認会計士協会（AICPA）を含む、その他の多くの組織により権威のあるものとして認識されている。FASBは、投資家その他の財務報告書の利用者にとって有用な情報を提供する財務報告を促進することを意図した、透明性があり、誰でも参加できるプロセ

スを通じて、財務会計の基準を開発し、公表している。米国財務会計財団（FAF）は、FASBの支援及び監督を行う。詳細な情報は、ホームページ（[www.fasb.org](http://www.fasb.org)）をご参照いただきたい。